

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 帝国ピストンリング株式会社
 コード番号 6463 URL <http://www.tpr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 平出 功
 (氏名) 小林 正幸

TEL 03-5293-2811

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	30,862	△28.0	353	△88.2	789	△77.7	5	△99.8
21年3月期第3四半期	42,860	—	3,001	—	3,542	—	2,297	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	0.16	—
21年3月期第3四半期	65.74	65.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	75,823	25,197	28.5	619.48
21年3月期	78,424	23,491	27.2	610.26

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 21,644百万円 21年3月期 21,322百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	9.00	—	4.50	13.50
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有
 期末配当予想4円の内訳は、普通配当3円、記念配当1円

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	△16.2	1,300	△28.5	2,000	△10.9	500	△54.7	14.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 安慶帝伯格茨缸套有限公司) 除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 35,553,099株 21年3月期 35,553,099株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 614,153株 21年3月期 613,636株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 34,939,140株 21年3月期第3四半期 34,940,558株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間を取り巻く経済情勢は、一昨年秋以降の金融危機が世界中に波及して、金融市場と実体経済が同時に危機に陥り、かつてないほどの急速かつ大幅な落ち込みとなりました。各国の政府・金融当局は連携して金融安定化策と景気刺激策を矢継ぎ早に導入し実行してきた結果、昨年の春を底に回復基調に転じてきているものの、総じて世界経済の低迷は続いております。

当社グループが主として関連する自動車業界も、国内外でのエコカー減税や補助金による政策導入により第2四半期連結会計期間以降は回復基調に転じましたが、未だ回復力は脆弱で、先行き不透明感は今後も継続する状況であります。

このような環境の中で、当社グループは総力をあげて売上高の伸張、原価低減活動、固定費削減の継続・強化等、収益改善に取り組んでまいりましたが、操業度低下による限界利益減を吸収しきれず、当第3四半期連結累計期間の売上高は308億6千2百万円（前年同期比28.0%減）、営業利益は3億5千3百万円（同88.2%減）、経常利益は7億8千9百万円（同77.7%減）、四半期純利益は5百万円（同99.8%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自動車関連製品事業

ハイブリッド車や小型登録車の好調に支えられ、国内自動車生産に回復の兆しが見られるものの、総じて自動車生産台数が日・米・欧で大幅な減産となった影響を受け、売上高は前年同期に比べ大幅に減少しました。

この結果、自動車関連製品事業全体では、売上高248億8千3百万円（同21.8%減）となりました。ただし、当第3四半期連結会計期間の売上高は3割弱の急速な回復基調にあった第2四半期連結会計期間を上回るものとなりました。その結果、営業利益は6億4千1百万円（同72.0%減）となり、当第3四半期連結累計期間は売上高の回復に伴い営業利益に転じました。

② その他製品事業

設備投資抑制の長期化による影響を受け、第2四半期連結会計期間とほぼ同一の減収率となりました。

この結果、その他製品事業全体としては、売上高59億7千9百万円（同45.9%減）、営業損失2億8千7百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

売上高は246億7千1百万円（同32.3%減）と最大の減収となりました。営業損失は8億2千9百万円となりました。

② 北米

第2四半期連結累計期間の売上高減の影響を払拭しきれず、売上高は24億1百万円（同40.8%減）と所在地別セグメントでは最大の減収率となりました。この結果営業損失は4千8百万円となりました。

③ アジア

中国市場の急速な回復および新規連結の影響により、売上高は51億4千1百万円（同1.4%増）と前年同期を上回りました。営業利益は9億1百万円（同172.4%増）と所在地別セグメントで最大の利益を確保することができました。

④ その他の地域

ヨーロッパ市場での落ち込みにより、売上高は16億3千4百万円（同31.7%減）、営業利益は1億3千1百万円（同36.6%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して26億円減少し、758億2千3百万円となりました。これは主にたな卸資産が11億4千8百万円、現金及び預金が5億7千9百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して43億7百万円減少し、506億2千6百万円となりました。これは主に借入金が増加した20億8千1百万円、支払手形及び買掛金が10億3千8百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して17億6百万円増加し、251億9千7百万円となりました。これは主に少数株主持分が13億8千3百万円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前年同期比では108億2千8百万円増加し、138億3千7百万円となりました。

当第3四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、47億8千8百万円(前年同期比115.3%増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が10億4百万円となった一方、たな卸資産の減少ならびに法人税等の還付額があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、23億6千2百万円(同49.3%減)となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得、投資有価証券の取得が減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、30億9千9百万円(前年同期は26億2千9百万円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内外の自動車産業の回復基調は前回予想時のものを上回っており、下期中も基調を維持するものと予想されます。一昨年秋以降の世界的な経済混乱時から取り組んだ徹底的な固定費圧縮を始めとした収益改善努力の継続・強化に加え、受注回復による操業度効果により、売上高、利益とも前回発表の予想数値を上回る見込みであるため、平成22年3月期連結業績予想を修正いたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社の持分法適用会社であった安慶帝伯格茨紅套有限公司は、当社が主導で技術・事業強化を実施していくこと及び当社の連結子会社とすることについて、合弁先からの同意が得られました。これにより、第1四半期連結会計期間より当該会社は実質支配力基準に基づいて当社の連結子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げにつきましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定につきましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性につきましては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,866	14,446
受取手形及び売掛金	9,995	8,941
商品及び製品	2,934	3,152
仕掛品	2,204	2,749
原材料及び貯蔵品	1,408	1,793
その他	1,449	3,543
貸倒引当金	△70	△34
流動資産合計	31,787	34,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,588	8,317
機械装置及び運搬具（純額）	14,895	13,550
その他（純額）	5,126	6,629
有形固定資産合計	28,610	28,497
無形固定資産		
その他	869	967
無形固定資産合計	869	967
投資その他の資産		
投資有価証券	7,277	6,282
その他	7,294	8,101
貸倒引当金	△15	△16
投資その他の資産合計	14,556	14,367
固定資産合計	44,035	43,831
資産合計	75,823	78,424

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,820	4,858
短期借入金	24,527	23,543
未払法人税等	194	69
賞与引当金	519	1,058
環境対策引当金	53	55
その他	2,434	3,093
流動負債合計	31,550	32,679
固定負債		
長期借入金	14,437	17,503
退職給付引当金	2,980	3,039
役員退職慰労引当金	346	271
環境対策引当金	170	170
その他	1,140	1,268
固定負債合計	19,075	22,253
負債合計	50,626	54,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,362	4,362
資本剰余金	3,544	3,544
利益剰余金	15,435	15,691
自己株式	△914	△914
株主資本合計	22,428	22,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	798	237
繰延ヘッジ損益	13	0
為替換算調整勘定	△1,595	△1,600
評価・換算差額等合計	△784	△1,362
新株予約権	39	38
少数株主持分	3,513	2,130
純資産合計	25,197	23,491
負債純資産合計	75,823	78,424

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	42,860	30,862
売上原価	33,241	24,472
売上総利益	9,618	6,390
販売費及び一般管理費	6,616	6,036
営業利益	3,001	353
営業外収益		
受取利息	10	32
受取配当金	93	134
負ののれん償却額	3	1
持分法による投資利益	983	393
助成金収入	—	365
その他	275	160
営業外収益合計	1,366	1,087
営業外費用		
支払利息	381	475
為替差損	164	109
製品補償費	204	—
その他	75	67
営業外費用合計	825	652
経常利益	3,542	789
特別利益		
機械装置簿価修正益	94	—
ものづくり産業応援助成金	—	287
その他	52	—
特別利益合計	147	287
特別損失		
固定資産除却損	—	22
投資有価証券評価損	374	48
その他	52	—
特別損失合計	427	71
税金等調整前四半期純利益	3,262	1,004
法人税、住民税及び事業税	531	266
法人税等調整額	195	305
法人税等合計	727	571
少数株主利益	237	427
四半期純利益	2,297	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,262	1,004
減価償却費	3,069	3,514
のれん償却額	0	2
負ののれん償却額	△3	△1
持分法による投資損益 (△は益)	△983	△393
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△59	35
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△231	△59
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△664	△538
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14	74
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△31	△2
受取利息及び受取配当金	△103	△166
支払利息	381	475
為替差損益 (△は益)	36	117
固定資産除却損	—	22
機械装置簿価修正益	△94	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	374	48
売上債権の増減額 (△は増加)	38	△634
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,024	1,516
仕入債務の増減額 (△は減少)	△677	△1,206
その他	430	△39
小計	3,703	3,771
利息及び配当金の受取額	770	758
利息の支払額	△350	△409
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,898	668
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,224	4,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,775	△2,421
有形及び無形固定資産の売却による収入	23	6
投資有価証券の取得による支出	△992	△1
投資有価証券の売却による収入	1	0
貸付けによる支出	△162	△439
貸付金の回収による収入	205	518
その他	43	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,656	△2,362

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,998	△1,704
長期借入れによる収入	530	1,000
長期借入金の返済による支出	△3,008	△1,914
株式の発行による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△681	△262
少数株主への配当金の支払額	△208	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,629	△3,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68	△672
現金及び現金同等物の期首残高	2,919	14,402
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	21	108
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,008	13,837

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	自動車関連製品事業 (百万円)	その他製品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	31,811	11,048	42,860	—	42,860
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	31,811	11,048	42,860	(—)	42,860
営業利益	2,291	709	3,001	(—)	3,001

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	自動車関連製品事業 (百万円)	その他製品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	24,883	5,979	30,862	—	30,862
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	24,883	5,979	30,862	(—)	30,862
営業利益又は営業損失	641	△287	353	(—)	353

(注) 1. 事業区分は、販売市場別区分によっております。

2. 各事業の主な製品

(1) 自動車関連製品事業 自動車関連部品（ピストンリング、シリンダライナ、バルブシート、アルミ製品等）

(2) その他製品事業 陸船用内燃機関部品（ピストンリング等）・自動温度調節弁・遠赤外線機器・電板用銅合金・治工具等・土木建築の設計、施工、管理

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	33,142	4,002	4,091	1,623	42,860	—	42,860
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,303	55	980	767	5,107	(5,107)	—
計	36,446	4,058	5,071	2,391	47,967	(5,107)	42,860
営業利益	2,151	106	330	207	2,796	205	3,001

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	22,851	2,386	4,538	1,087	30,862	—	30,862
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,820	15	603	546	2,986	(2,986)	—
計	24,671	2,401	5,141	1,634	33,849	(2,986)	30,862
営業利益又は営業損 失	△829	△48	901	131	155	198	353

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 北米……米国
 アジア……中国、ベトナム、タイ、インドネシア
 その他の地域……ドイツ、トルコ

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高（百万円）	8,657	4,686	4,004	17,347
II 連結売上高（百万円）				42,860
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合（%）	20.2	10.9	9.4	40.5

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高（百万円）	7,539	2,673	2,480	12,694
II 連結売上高（百万円）				30,862
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合（%）	24.4	8.7	8.0	41.1

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) アジア……中国、インドネシア、タイ
 (2) 北米……米国
 (3) その他……アラブ首長国連邦、ドイツ
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。